

第4回 気候変動・省エネルギー行動会議

Behavior, Energy & Climate Change Conference

BECC JAPAN 2017

主催 気候変動・省エネルギー行動会議 後援 経済産業省、環境省、一般社団法人日本エネルギー学会、一般社団法人エネルギー・資源学会
協賛 ゴールドスポンサー：大阪ガス株式会社、東京ガス株式会社、日本オラクル株式会社 (Oracle Utilities Global Business Unit)
シルバースポンサー：電気事業連合会、東邦ガス株式会社、西部ガス株式会社、日本ガス体エネルギー普及促進協議会、積水ハウス株式会社

BECC JAPAN 2017では、省エネルギーのための行動変容に注目し、米国の最新動向に関する基調講演と、本分野に関する39件の研究発表をお届けします。エネルギー業界、住宅・建築業界、メーカー、大学・研究機関、行政など幅広い分野の皆様のご参加をお待ちしております。

期間

平成29年9月5日(火) 本会議 定員 250名程度

平成29年9月6日(水) 施設見学会 定員 36名

会場

JA共済ビル カンファレンスホール

(東京都千代田区平河町2-7-9 JA共済ビル 1F)

参加費

本会議参加費

| | |
|---------|---------|
| 一般 | 20,000円 |
| 教育・研究機関 | 15,000円 |
| 学生 | 7,000円 |

交流会参加費

2,000円

施設見学会参加費

3,000円

申し込み

<http://seeb.jp/>

上記webサイトからのみお申し込みができます。

締め切り日

平成29年8月31日



全体プログラム

9月5日

9:30~10:00 受付開始
10:00~10:05 開会挨拶
10:05~10:20 来賓挨拶
10:20~11:40 基調講演

ローレンス・バークレー国立研究所 (米国)
シニアサイエンティスト
Dr. Alan Meier (アラン・マイヤー)

※講演は英語。日本語逐次通訳付。

11:40~12:25 ランチ休憩
12:25~13:15 ポスター発表セッション
13:15~18:05

- 口頭発表セッション1A 省エネ住宅の評価
- 口頭発表セッション1B 業務施設での省エネ行動
- 口頭発表セッション2A 教育・普及啓発
- 口頭発表セッション2B ライトニングセッション2B 省エネ行動の規定要因・HEMS
- 口頭発表セッション3A HEMS導入世帯の省エネ行動
- 口頭発表セッション3B ライトニングセッション3B 事業所・学校・教育
- 口頭発表セッション4A 省エネ機器の購買行動
- 口頭発表セッション4B 省エネ機器の購買行動 エネルギー事業者の取り組み

18:20~19:40 交流会

9月6日

●施設見学会 午前の部 10:00~/午後の部 13:00~
Fujisawa サステナブル・スマートタウン (神奈川県藤沢市)
※内容は同じですが、午前と午後の参加が選べます。詳しくは申し込みサイトをご確認ください。

問い合わせ先 気候変動・省エネルギー行動会議

事務局：(株)住環境計画研究所 Email: info (at) seeb.jp ※(at) は@に書き換えてください。 電話番号：03-3234-1177 (代表) 第2版

詳細プログラム

(1) 口頭発表セッション

1A 省エネ住宅の評価

省エネ住宅改修の費用便益分析：—全国消費実態調査とエネルギー消費性能プログラム（住宅版）を用いて— 鷲津 明由（早稲田大学）
アンケート調査に基づく住宅設計時における施主の選択と温熱環境の満足度に関する研究 前 真之（東京大学大学院）

1B 業務施設での省エネ行動

大学施設における学生の省エネルギー行動と意識 湯浅 和博（東京工業大学）
中小事業所向け省エネアドバイスレポート自動生成に資する稼働日推定および簡易用途分解の推定傾向分析 小松 秀徳（電力中央研究所）

2A 教育・普及啓発

日本の中学生のエネルギーリテラシー構造モデル調査 秋津 裕（京都大学大学院）
教育ゲームの活用による省エネ行動の普及 杉浦 淳吉（慶應義塾大学）
地方における省エネ行動促進のために～普及啓発実践者のための研究交流集会の開催 岡崎 朱実（北海道大学）

3A HEMS導入世帯の省エネ行動

家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：研究の全体概要と省エネルギー情報提供のあり方に関する検討結果 坊垣 和明（東京都市大学）
省エネルギーを推進するライフスタイルとは？～価値観を含むライフスタイル要因からの考察～ 大塚 彩美（横浜国立大学大学院）
電力価格が上がるとき 一気に節電、それとも徐々に？ 牛房 義明（北九州市立大学）

4A 省エネ機器の購買行動

省エネ家電製品購買行動の促進要因に関する研究 前田 洋枝（南山大学）
経済的側面から見た省エネルギー型給湯器の購買行動の分析 天野 晴子（日本女子大学）

4B エネルギー事業者の取り組み

エネルギー供給事業者の新たなビジネス・モデル：顧客接点と行動科学を活用した情報提供による新省エネ技術やサービスの導入推進 ケン ヘイグ（日本オラクル株式会社）
暖房自動制御と見える化システムを備えた省エネサポートシステムの開発：省エネサポートアプリによる情報提供手法開発と省エネルギー効果の検証 平山 翔（株式会社住環境計画研究所）

(2) ライトニングセッション

2B 省エネ行動の規定要因・HEMS

他者行動のフィードバックは家庭の電気使用量を減らすことができるか ～「Leading Eco Life つるみ」における検討～ 安藤 香織（奈良女子大学研究院）
一人暮らしの住まいにおける省エネルギー行動の研究：質的研究からわかる行動規定因の特徴 長澤 夏子（お茶の水女子大学）
需要家の行動変容を促すための要因および介入手法と効果に関する既存研究の考察 錦織 聡一（東京工業大学）
消費者の環境関心と環境配慮行動 (発表取り下げ) 藤澤 美恵子（金沢大学）
環境ビッグデータの活用10億件のHEMSデータから何が見えるのか？：～HEMSデータから見る生活者行動～ 本田 智則（産業技術総合研究所）
分電盤分岐回路の電力分析による機器動作推定技術のHEMSサービス適用 高橋 知成（パナソニック株式会社）

3B 事業所・学校・教育

事業所の省エネ行動促進に向けた「ナッジ」の考え方と具体例 木村 幸（電力中央研究所）
簡易な情報掲示による省エネルギー行動誘発～通年実証結果とさらなる省エネルギー行動誘発へのアプローチ～ 糸井川 高穂（宇都宮大学）
大学施設における節電シール配布による実験機器の省エネルギー効果 大橋 巧（日建設計総合研究所）
中・高・大学生の食生活に関する省エネ教育による意識・行動変容効果の違い 奈良 英代（藤女子中学校・高等学校）
日本型省エネ学習プログラムの開発とその教育効果：小中高大における「省エネ行動スタートBOOK」を活用した授業実践から 松葉口 玲子（横浜国立大学）
家庭における親子の省エネルギー意識・行動の定着に関する研究 高田 宏（広島大学大学院）

(3) ポスター発表セッション

- 1 社会生活基本調査に基づく家庭の省エネポテンシャル 平湯 直子（武蔵野大学）
- 2 実験集合住宅NEXT21でのデマンドレスポンス実証について 秋岡 尚克（大阪ガス株式会社）
- 3 HEMSデータ分析に基づく居住者へのフィードバック 青柳 光（九州大学大学院）
- 4 HEMS及び行動変容デバイスの事例調査 吉本 瑛里子（九州大学大学院）
- 5 設計者と施主の環境意識共有のための冊子コンテンツの作成 新富 凌汰（東京大学大学院）
- 6 節水・節湯に関する省エネ行動の普及促進および効果の定量化 荒木 葉子（新渡戸文化短期大学）
- 7 省エネ行動の難易度の違いによる効果的な情報提供の検討 近藤 芳樹（東京ガス株式会社）
- 8 省エネ型買い物ゲームによる意識・行動変容効果 小池 温子（東京家政大学）
- 9 東京都北区におけるごみ削減普及啓発による行動変容効果 赤石 記子（東京家政大学）
- 10 「省エネ行動スタートBOOK」を活用した授業実践 岩瀬 正幸（関東学院大学）
- 11 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：新築マンション居住者に対する入居前後ならびに竣工1年後のアンケート調査結果 吉田 一居（株式会社東急不動産）
- 12 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：エネファームを設置したマンションにおけるエネルギー使用量と省エネ行動の関係 三神 彩子（東京ガス株式会社）
- 13 家庭内における省エネルギー行動と意識に関する研究：新築マンション電力使用量による生活パターン分類と電力削減目標の算定 阿部 寛人（東京都市大学大学院）